



「まなび」でつなぐ「大家族たかはま」
— “まちづくり” は “ひとづくり” から —

「まちづくり協議会」について知る。

活動紹介⑦ まなびとふれあい

皆さんの得意なことをいかして
地域のために何かしたいという方はいませんか。

問合せ先 団総合政策グループ（内線365・339）

「まなび」の第一歩は、一人ひとりが自らの興味・関心から、趣味・教養として自身の能力を高めていくことから始まります。しかし、個人の自己完結的な「まなび」で終わらせてしまうのではなく、そうして培った力を蓄え、人と人、人とまなびを結びながら、「まなび」の成果を子どもたちの育成や地域のまちづくりにかかしていき、みんなで力を合わせて高浜市を創りあげていくと、今よりもっとすてきな高浜市になると思いませんか。そんな活動を実現する場がまちづくり協議会にはあります。

吉浜まちづくり協議会の囲碁教室では、地域の大人たちが講師となって子どもたちに囲碁を教えています。「自分のちょっとした特技をいかして子どもたちが喜んでくれる姿を見られるのがやりがいなんです」と話してくれたのは、講師の一人の菅野さん。子どもたちが夢中になって囲碁をしていたり、大人に勝つなど子どもたちの成長を間近で見ることができると嬉しいそうです。

「囲碁教室」講師

西村浩さん（写真後列右）

菅野洋一さん（写真後列左）

- ・自分の孫と思って楽しく指導しています。
- ・子どもが成長していく姿を身近で見られるのが楽しみです！

「囲碁教室」参加者

三宅鈴音さん

（吉小4年 写真前列右）

森下華衣さん

（吉小4年 写真前列左）

- ・親切丁寧に教えてくれるからわかりやすい！初心者の私にも一生懸命教えてくれます。
- ・最初は、知っている人がいなくて不安だったけれど、今では楽しく囲碁を打っています。



毎月1日号で、「まちづくり協議会」やその活動についてテーマごとに紹介しています。気になる活動に、ちょっと参加してみる。そのきっかけになれば…。